

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年12月27日

計画の名称	弥富駅周辺地区													
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	弥富市													
計画の目標	多様な交通手段がアクセスし、乗り継ぎができる結節点として、だれもが効率的かつスムーズに移動できる環境づくりを推進する。 南海トラフ巨大地震や風水害などの自然災害に備え、「弥富市地域強化計画」の基本目標である「地域及び社会の重要な機能を維持する」「市民の財産及び公共施設、産業・経済活動に係る被害をできる限り軽減する」を実現するため、弥富駅周辺地区の防災性・安全性の向上と駅への交通アクセスの確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,223	A	2,223	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和5年度		令和9年度
1	電車・駅関連施設の利用しやすさの満足度の平均点を2.8から3.0点に向上させる。（市民アンケート調査による平均点）			
	電車・駅関連施設の利用しやすさの満足度 “電車・駅関連施設の利用しやすさ”に関するアンケート調査の平均点（満足している5点、まあ満足している4点、どちらでもない3点、あまり満足していない2点、満足していない1点とした場合の加重平均値）	2点	点	3点
2	避難路・避難場所の場所の分かりやすさ、充実度の満足度の平均点を2.4点から3.0点に向上させる。（市民アンケート調査による平均点）			
	避難路・避難場所の場所の分かりやすさ、充実度の満足度 “避難路・避難場所の場所の分かりやすさ、充実度”に関するアンケート調査の平均点（満足している5点、まあ満足している4点、どちらでもない3点、あまり満足していない2点、満足していない1点とした場合の加重平均値）	2点	点	3点
3	弥富駅周辺地区における津波・高潮緊急時避難場所の収容率を69.8%から72.0%に増加させる。			
	弥富駅周辺地区における津波・高潮緊急時避難場所の収容率 地区人口に対する緊急避難場所の避難可能面積の割合で算出する。（避難可能面積は一人あたり1㎡とする。）	70%	%	72%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	弥富市	直接	弥富市	-	-	都市・地域交通戦略推進 事業（弥富駅周辺地区）	自由通路 L = 90m等	弥富市	■	■	■	■	■	2,223	1.57	未策定	
												小計						2,223		
											合計							2,223		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	275				
計画別流用増 減額 (b)	183				
交付額 (c=a+b)	92				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	37				
翌年度繰越額 (f)	55				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					